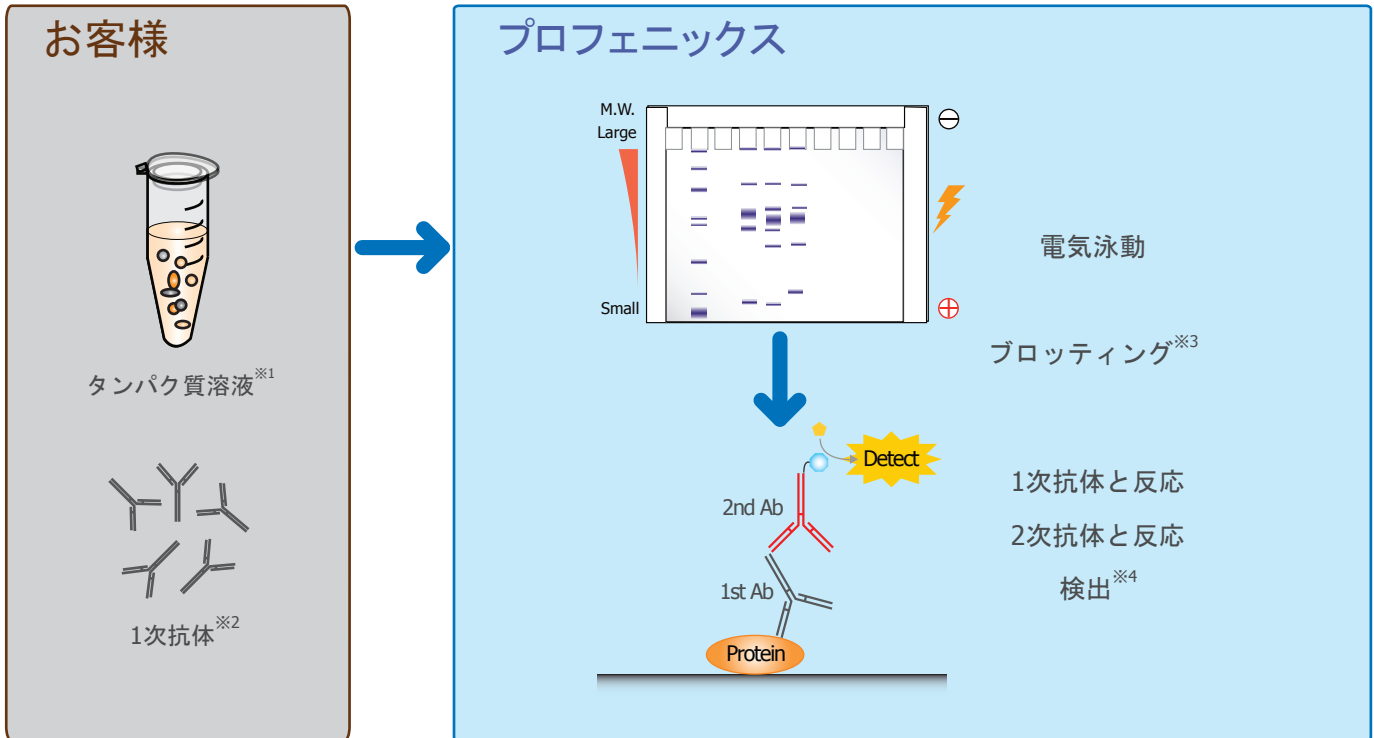


5. Another Analysis

5-1

ウェスタンブロット解析

ウェスタンブロット解析では、抗体濃度、S/N比、非特異的シグナルの判断などの条件検討が不可欠です。綿密な文献調査を行いますので、タンパク質抽出法や抗体の選定についてもご相談ください。



※1 ヒトの未変性サンプルの場合は、感染性がないことを証明していただく必要があります。この場合、先にタンパク質濃度を測定し、SDS+DTTのボイル処理などで完全に失活させてあれば問題ありません。

※2 1次抗体はお客様でご用意ください。

※3 ブロッティングは転写効率の良いタンク式で行います。

※4 検出は化学発光法(ECL)を採用しております。

○解析料金はゲル1枚あたりの価格です。12検体まで同一料金で承ります。

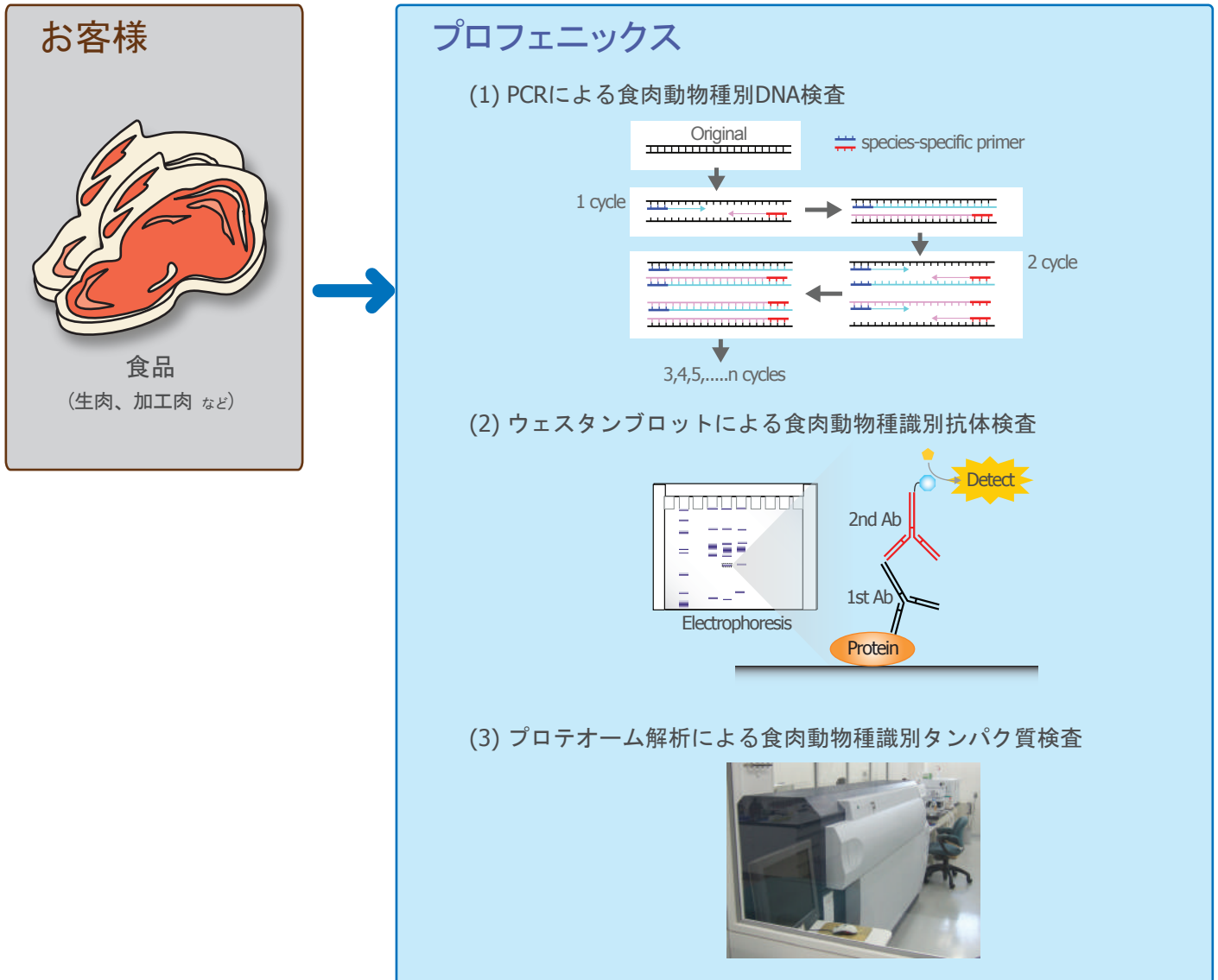
○サンプル溶液と抗体のマッチングから、全ての実験系で検出が可能になるわけではないことをご了承ください。

○感度を上げるとS/N比が悪くなる場合があります。

特徴

- ご用意いただくものは調製済みのタンパク質溶液と1次抗体です。
- 条件を変更しながら数度にわたり試験し、最適な条件を検討します。
- ラージゲルによる二次元電気泳動のブロッティングも可能です。

近年の食肉部位偽装・産地偽装などに対応するべく、食品中の食肉の生物種を判定します。このサービスは複数の解析法をご用意しておりますので、下記のいずれかをご選択いただけます。



特徴

(1) PCRによる食肉動物種識別DNA検査

- 超高感度、低コスト
- ご指定生物種の混在確認（陰性／陽性）
- 偽装以外にも、生産設備共用あるいは動物由来油脂の使用などによる微量の混入が検出される可能性があります。検出のエンドポイントについてはご相談ください。

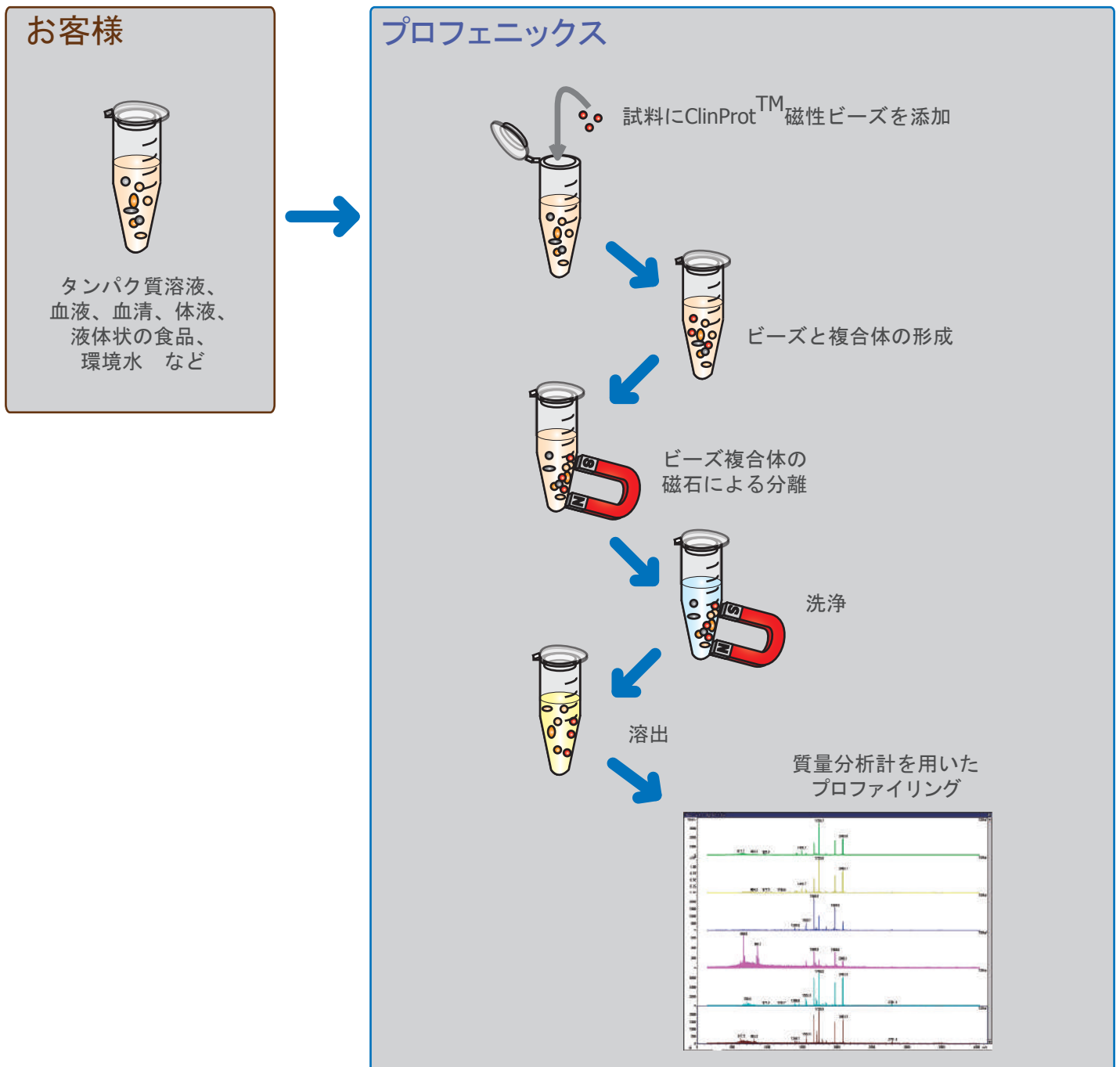
(2) ウェスタンブロットによる食肉動物種識別抗体検査

- 高感度
- ご指定生物種の混在確認（陰性／陽性）
- 内臓肉の判定も可能です。

(3) プロテオーム解析による食肉動物種識別タンパク質検査

- 高感度
- 事前の種の指定が不要です。検出した種の全てをリストアップできます。
- 内臓肉の判定も可能です。

ClinProt™システム (Bruker Daltonics)を用いたバイオマーカーの探索サービスです。ペプチドに特化して多検体統計解析をすることで短時間でプロファイルを作成し、バイオマーカーとなるタンパク質を発見します。ClinProt™磁性ビーズは、特殊な機能表面を有する微粒子で、体液や組織、細胞培養液中にある目的のタンパク質やペプチドを物理的特性に基づいて選択的に結合します。結合した物質は、質量分析計(ultraflex Tof/Tof)を用いて比較解析します。



特徴

- ビーズ機能表面には、逆相 (C8)、金属イオンアフィニティー(Cu)、イオン交換(弱陰イオン) のバリエーションがあり、様々な分画が可能です。
- 臨床検体のパターン解析・プロファイリングを始め、多彩な解析に応用できます。
- 多検体における統計的解析を専用ソフトウェアで実施します。